

予算・決算特別委員会の審査の仕方、人事案件にかかる個人情報取り扱い扱い、通年議会等について活発な質疑が交わされました。

以上いずれの議会においても、議会基本条例は制定されていないものの、それぞれが抱える課題について議会改革に積極的に取り組んでおりました。

奥州市議会においても、議員相互の議論を大事にしながら、市民に理解され、より開かれた議会を目指し、更なる改革、活性化に取り組むことの必要性を感じました。

総務常任委員会

＊視察日 平成23年9月28日

30日

＊視察先 茨城県古河市

埼玉県春日部市

栃木県日光市

【古河市】住宅公社及び土地開発公社の解散について

平成17年の合併当初、土地開発公社が16億円、住宅公社は64億5千万円ほどの負債がありました。土地開発公社は、対象土地の簿価総額の比率を10分の1以下に引き下げ、経営健全化を実行し平成23年解散手続きを終了しており、住宅公社は「第三セクター等改革推進債」を活用して清算法人へ移行

して居り、長期の償還計画と、対象土地の処分計画を具体性のあるものとする事の必要性を実感してまいりました。



古河市

【春日部市】学校跡地の利用について

少子化と校舎の老朽化により廃校となった敷地の3分の2をプロポーザルによる宅地分譲とし、民間業者へ売却して新設校建設の財源とし、残り3分の1を地域住民の集会施設、広場として活用しておりました。地元要望の把握と住民理解への努力が特筆でした。

【日光市】行財政改革における財政基盤の確立について

歳入の確保策として税基盤の充実、使用料・手数料の滞納整理と徴収率の向上、未使用財産の売却処分、国保税の基盤強化、下水道使用料の見直しに取り組んでおり、歳出の抑制では、人件費の抑制、公債費負担の軽減、経常経費の抑制、補助金の整理合理化、特別会計繰り出し金の抑制等に取り組んでおり、総合支所の課を大きく機

動的にした点、特別会計の税率の見直し、事務の合理化等参考になりました。

教育厚生常任委員会

＊視察日 平成23年11月7日

9日

＊視察先 東京都小平市

埼玉県さいたま市

栃木県宇都宮市

【小平市】「放課後子ども教室推進事業」



小平市立第八小学校 花植え隊

学校区毎に実行委員会を組織し、総合的な調整役を行うアドバイザーの役割が大変おおいこと、学校長をはじめ学校側の協力体制を築いていることが大きな特徴でした。

「学校を地域に開放する事で学校を守る」という考え方で、学童クラブの補完をするものでなく、学童クラブがすべての小学校に設置された上での取り組みとなっていました。

【さいたま市】「誰もが共に暮らすための障害者の権利の擁護等に関する条例」（*ノーマライゼイション）

条例

＊ノーマライゼイション：1960年代に北欧諸国から始まった社会福祉をめぐる社会理念の一つ。障害者と健常者とは、お互いが特別に区別されることなく、社会生活を共にするのが正常なことであり、本来の望ましい姿であるとする考え方。またそれに向けた運動や施策なども含まれる。

条例の基本理念は、障害のある人への差別を無くし、虐待が起こらぬよう、市や市民全体で支援をするときには、障害のある人が自分で決めて選んだことを大切に、地域社会においてふさわしい役割を果たすことができるようにすることを掲げています。条例推進体制も明確にし、具体的に取り組んでいることが特筆されます。

【宇都宮市】「小中一貫教育と地域学校の推進」

既存の学校を活用し中学校区単位の「地域学校園」を設定し、地域の人材や自然等の教育資源と学校、家庭、地域、企業が一体となった学校教育、地域教育を推進しています。すべての子どもに学力を保障することを目指し、全市共通の独自カリキュラムを作成し、9年間を、4・3・2制とし小中学校の円滑な接続を図るとともに、